

之ヲ棄退同地ヲ確保ス
更ニ仲間高地ヲ包圍セル敵ハ其ノ一部ヲ前田南側陣
地(独歩上)大隊同十四大隊布田輜重隊守備)攻奪
使用ス

八、五月四日軍ハ其ノ重点ヲ中街道以東ニ指向シ第二十四
師団主力ヲ以テ砲兵、金火力ニ依ル射撃ニ引續キ總攻
奪ヲ敢行ス然レドモ我が航空力期待ニ得ズ砲兵火力
敵ニ比シ極メテ微弱ナル為制空權ハ敵中ニヨリ地上火制圧
スル能ハズ其ノ射撃織列ナルニ依リ攻奪言語ニ絶スル困
難ヲ伴フ烈々タル攻奪敢斗精神ニ充溢ス我カ部隊
ハ克ク凡スル困難ヲ冒シ攻奪ヲ續行日没第二十四師
団一部ハ棚原ニ進出セリ

九、五月六日棚原方面、攻奪部隊兵力損耗大在ト敵ノ
反抗猛烈ナル為戦果拡大スルヲ得ズ同地ヲ固守スル

コトニカバサル狀況ナリ克ク之ヲ二三日間固守セリ
仲間方面、敵ハ更ニ攻奪ニ感烈ヲ加ヘ同北側高地中
央ヲ確保スル賀谷大隊(21)ニ対シテハ背後ヨリ数輪ノ
戦車ヲ以テ之ヲ攻奪東西及正面ヨリハ逐次之ヲ蚕食
六百ノ九日ニ至ル四日間昼間ハ據兵ニ馬乗リ同高地ヲ敵
ニ占領セラレ夜間手榴弾石等ヲ以テ肉弾之ニ突入再ビ
之ヲ奪取スル等文字通りノ爭奪戦ヲ及復ス
為ニ兵力日ト共ニ減シ彈藥減少戦力失至ルモ大隊長
ハ各種手段ヲ構シ戦斗ヲ續行死守セシトセリサレド軍攻
奪成功セズ再ビ大規模ノ攻勢ヲ取り得サル今日に至リテハ
同高地ノ重要性半以上失ハレタルニ依リ旅団ハ之ヲ撤
収シ同大隊ヲ整理爾後ノ戦斗ニ備フヘク五月九日夜
撤ヲ命セリ(配属部隊ヲモ含ミ)
一方前田南側ニ対スル敵攻奪モ亦熾烈ニシテ五月七日

独歩十一大隊本部ハ敵ノ馬乗りヲ受ケ経隊ノ北端
又敵ニ占領セルに至リ

一、九日夜 賀谷部隊ハ敵ノ重圍ヲ突破徹退ヲ快行シ
モ兵力ハ既ニ大半散失シ更ニ又突破ニテ損失シ十日首
里ニ兵力ヲ集約シタルモ本来ノ團部隊ノ兵員大隊長
以下百名足ラズトナシ

独歩十四大及ニ七三六之又兵力多ク失ヒタルモ徹退ニ
際ニ損害ナク十日朝 首里ニ到着ス

二、仲間撤退ト同時ニ仲間前附近ノ残存地域ヲ命ニ依
第三四師団ニ移譲從テ同地防衛ノ独歩十一大帥
団輜重隊、独機、四大等其儘ノ態勢ニテ之ヲ同師
団ニ配屬セリ同地ハ仲間撤退ト共ニ敵ノ攻害更ニ熾烈
トナリ十三日夜全面的ニ首里外部收約スルニ快ク同
夜撤退、配屬部隊ハ敵ノ重圍ノ中ニ在リテ十三日夜独歩

十一大隊十四日夜師団輜重ト相次テ首里市平良町ニ
撤退シ来ル 独歩十一大隊ハ敵中ノ撤退容易ナラズ部隊
長三浦中佐負傷残存ハ切込ヲ快行シ首里ニ撤退セルハ

一部ニナリ

一、旅団ハ右状況ニ鑑ミ各部隊ヲ整理スルニ快ク之ヲ整理
更ニ新夕ニ配屬セラレタル軍ノ後方部隊ノ一部等及比
較的ニ輕忘タル患者ヲモ動員シ首里死守ノ態勢ヲ整フ
同時ニ於ケル態勢左ノ如シ

独歩十一大隊(独歩十一大隊)同ニ七三六大隊 独歩十二大隊 飛
行場設置 第九大隊主力其他ヲ含シ 首里北側上陸頭
山附近ノ防衛担任

独歩十三大隊 首里西側外部防衛
同 十四大隊 首里西方内部防衛
同 十二大隊 (新夕ニ師団命令ニ依リ旅団直轄ナリ)

独機四大隊ヲ輸入シ首里平良町
師団輜重隊首里市赤田町附近
軍衛兵師団工兵師団衛兵首里市内
旅団長ハ首里市防衛司令官ヲ命ゼラル
一三 六十四団正面ハ敵ノ猛攻ヲ受ケアリテ同旅団全カヲ以テ
之ヲ拒止シアリシカ十三日遂ニ其ノ堅壘澤底ハ敵ハ占
領スルトコロトナレリ、東海岸方面ハ二十四師団奮戦シ
辨ケテ嶽一澤玉森ノ線ニ之ヲ押ヘ西海海岸方面ニ於テハ
大名一那霸北側ノ線ニ六十四旅団及独機四十四旅団之ヲ
ヲ拒止シアリ
敵ハ依然トシテ浸透戦法ニ依リ逐次我が陣内ニ浸入ス
特ニ那霸市及與那原方面ニ於ケル進出見ルベキモノアリ
首里正面ハ其防衛堅固ナルト我カ抵抗頑強ナルモト
判断シテカ両翼ヲ急速ニ進出セシメ首里包圍ノ態勢

ヲ企図セルモノ知シ

十四 十四日頃ニ至リ六十四旅団ハ首里ニ撤退シ兵力
整理中ナリ之ニ伴ヒ六三旅團司令部ハ赤田町ニ
移動ス

十五 那霸方面ニ進出セル敵ハ此ノ頃ヨリ西側ヨリ首里西方
ニ進出シ未吉附近ニ進出シ西方外部ヲ攻撃シ来リ又
「タクシ」方面ノ敵ハ平良町北方ニ攻撃シ来ル更ニ
二十日頃ニ至リ全面的ニ首里附近傍ニ迫リ各部隊共
僅少ナル彈藥ト兵員ヲ以テ奮戦アリ迄之ヲ拒止
ス特ニ平良北方ニ二大隊正面及西方十三大隊
正面ハ激戦ヲ極メタリ

十六 二十四日軍ハ全般ノ状々ヨリ首里ヲ放棄島尻ニ
転進シ持込作戦ヲ以テ成ルベク敵ニ多ク出血セシメ
且長ク本島ヲ防衛セテ企図シ之ヲ内示ス